

第四十六回

熊本城（熊本県熊本市）

「櫓」主宰 江崎 紀和子 選

熊本市賞

桜満つきずをいやした天守閣

熊本県菊池市 西川 明那

特選三句

熊本城清正公は花まみれ

大分県別府市 村井 東輔

曇り空緑も色を塗りかえて

熊本県熊本市 丸山 本頭火

天守閣芽ぶく若葉に輝やけり

熊本県熊本市 角田 舞句

投句総数 十六句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

奈良・斑鳩町賞

清明の松の参道あゆみけり

奈良県北葛城郡河合町 荻野 鷹生

特選三句

春風やいくさなき世の阿修羅像

奈良県天理市 松田 吉上

うららかや弥勒菩薩のひざがしら

奈良県生駒郡平群町 金城 国子

虹梁の続く回廊若葉風

奈良県生駒郡斑鳩町 内田 良平

投句総数 七十七句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

子規はいく賞三句

肩車の親子指差す椿かな

愛知県知立市 山田 寛人

春告鳥の声をたどつて偉人坂

愛知県稲沢市 小崎 忍

目のやさしどこか煤けし土雛

愛知県名古屋市 加島 孝允

特選三句

どの径をゆくも馬酔木の花盛り

岐阜県各務原市 星河 ひかる

うぐいすの声の明るき明治村

静岡県富士市 佐野 明美

独房の小さき高窓春の闇

愛知県名古屋市 加島 照子

投句総数 六十九句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

子規庵（東京都台東区）

休庵中のため投句なし

第四十六回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

風吹けば眠気深まる三笠かな

東京都江戸川区 宮内 辰弥

マストより真之しのぶ春の波

静岡県静岡市 中川 理央

竹筒の俳句ポストや寒もどる

神奈川県川崎市 酒井 礼伊

投句総数 七十三句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選二句

旗の立つ呉のカレーや春うらら

広島県東広島市 村上 恵子

特攻の文ににじむや春の雨

福岡県筑後市 坂田 志保

投句総数 十三句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

ガラス戸に光溢れて春近し

東京都豊島区 宮石 幸雄

猫塚の猫に名は無し花嵐

東京都文京区 岡崎 泰三

薄氷やうなづくだけの君と居て

東京都新宿区 赤尾 昌恵

投句総数 五十八句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

雪化粧心も清く白虎隊

東京都足立区 山中 雷太

兜と刀重く冷たく冬の城

東京都渋谷区 松下 陽菜

桜見て旅立ち思う休暇かな

富山県富山市 梅澤 尚志

投句総数 六十七句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

東松山市（埼玉県東松山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

渡し場へ合図の小旗水温む

埼玉県川越市 吉野 敬子

こんな日は葛湯と猫が居れば良い

埼玉県東松山市 大井 正行

春の川囁き合ひて合流す

埼玉県東松山市 大井 津由子

投句総数 四十四句

開函日 令和四年四月三十日

第四十六回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

俳句のまちあらかわ賞

春めくやメトロ駅まで遠回り

東京都荒川区 谷井 千絵

特選二句

春駒のか細き足の輝けり

東京都荒川区 町田 美幸

春来たるサドルを高く風を切り

埼玉県春日部市 池田 洋子

投句総数 四十句

開函日 令和四年四月三十日